

背景

- 中南米地域については、平成26年に安倍首相が総理として10年ぶりに訪問し、首脳会談を行うだけでなく、同行した経済ミッションと共に強力なトップセールスを展開したほか、政府には「中南米経済・文化交流促進会議」が設置され、政府一体となった交流促進の取組が推進されているところ。
- コロンビア・ペルーは、治安改善が進み、市場規模が大きく成長率が高いなど、近年安定した経済成長を見せている。
※中南米32カ国のうち、GDP2千億ドル以上の国の中で、経済成長率1位はコロンビア、2位はペルー（H26年度）。

セミナーの概要

- 日程：コロンビア 2016年2月10日(水)～12日(金)
： ペルー 2016年2月15日(月)～17日(水)
- 場所：コロンビア(ボゴタ市内)・ペルー(リマ市内)
- 主催：国土交通省
- 共催：コロンビア 住宅・都市・国土省、貿易投資促進機構(PROCOLOMBIA)
： ペルー 住宅建設上下水道省
- 参加者：
建設業・不動産業・商社・銀行・製造業等のインフラ関係
日系企業10～20社、現地の関係企業・機関 等
- 内容：
日本の技術(免震・耐震・環境・安全等)のプレゼンテーション、
現地企業とのビジネスマッチング 等

※メキシコ、コロンビア、ペルー、チリの4ヶ国で構成される「太平洋同盟」(2011年設立)は、加盟国間の経済統合とアジア太平洋地域との政治経済関係強化を目標に掲げている。

